

子供の学習に関する実態把握

事業番号	13	優先	A	担当	指導室		
事業内容	授業改善の推進に向け、「授業が楽しいか」、「勉強が好きか」など、子供の学習に関するアンケートを実施し、課題を明確にする。また、よりよい授業を目指すため、教員が児童・生徒からの評価を受け、その評価を分析し授業の改善に生かす。						
26年度目標	学習に関する意識や定着の程度を把握するために学力調査等の意識調査を活用し、子供の実態把握を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学習に関するアンケート・児童・生徒の授業評価の検討	検討	試行	実施	継続	継続	市で統一様式を作成し、実施
26年度事業成果 (Do)	全国学力調査と東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査を子供の意識調査として位置付け、小金井市の学習状況等の把握に取り組むことができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	小金井市の子供の学習に関する意識の実態を分析し、その結果を校長会や教務主任研修会で周知し、全校の授業改善に反映させる。						

体験活動の充実

事業番号	14	優先	A	担当	指導室		
事業内容	鶴原海の移動教室や清里林間学校、地域での野外観察、校外学習等、体験活動の充実を図る。						
26年度目標	体験活動を年間指導計画の中に意図的・計画的に位置付け、一層の充実を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	体験活動の充実	充実	充実	充実	充実	充実	充実
26年度事業成果 (Do)	全校で各教科、総合的な学習の時間、学校行事の教科等のねらいと体験活動を関連させながら、体験活動の充実を図るための計画を立て、実施することができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	各校の特色ある教育活動と体験活動の関連を図る教育活動を展開することで体験活動の一層の充実を図る。						

補習授業等の充実

事業番号	15	優先	A	担当	指導室		
事業内容	学生ボランティア等を活用した放課後の補習授業、夏季補充学習やサマースクール等を行う。						
26年度目標	放課後や夏季休業日の補習授業を行い、児童・生徒の基礎学力の定着を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	補習授業等の試行	充実	充実	充実	充実	充実	補習授業等の全校実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	全校で大学生のボランティアや地域の方々による学習補助の活動を行い、学習が遅れがちな児童・生徒等に対する補習授業を行うことができた。						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	地域連携協力事業の活動の中に補習授業等の充実を位置づけ、学生ボランティア、地域ボランティア等を活用した補習授業等を展開する。						

「小金井市学校読書活動推進月間」の設定

事業番号	16	優先	B	担当	指導室		
事業内容	全校で読書活動推進月間を設定し、この期間に児童・生徒の読書活動を推進する展示等を行う。また、夏休みの期間を活用し、「小金井市読書感想文コンクール」を実施する。						
26年度目標	学校読書活動推進委員会が中心となり、読書活動推進月間の実施内容や読書活動推進計画の改善について協議し、各学校の取組に反映させる。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学校読書活動推進委員会で検討	検討	検討	試行	充実	充実	読書活動推進月間の実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	読書活動推進月間には、全校配置されている図書館補助員を中心に読書の推進や読書環境整備の取組、読書指導を充実させることができた。						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	年3回開催される学校読書活動推進委員会の中で、学校ごとに取り組む読書活動推進月間の取組等についての情報交換を行い、全校の取組を充実させる。						

学校図書館補助員の配置と読書活動の充実

事業番号	17	優先	C	担当	指導室		
事業内容	学校図書館補助員の配置日を拡充し、読書活動の一層の充実を図る。						
26年度目標	学校図書館補助員の配置日の拡充を検討する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学校図書館補助員の配置拡充の検討	検討	検討	検討	検討	試行	充実
26年度事業成果 (Do)	全校で図書館担当教諭と学校図書館補助員の効果的な連携が図られ、学校図書館の環境や教員の読書指導を充実させることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	学校図書館補助員の業務内容を再確認し、拡充のための予算の検討を継続して行う。						

情報モラルの向上

事業番号	18	優先	A	担当	指導室		
事業内容	家庭・地域との連携の下、ICTの正しい使い方やインターネットやメールなどの利用に関するモラルやマナーを身に付けるための情報モラル教育の充実を図る。						
26年度目標	教員向け情報モラル研修を行ったり、セーフティ教室において関連企業と連携した情報モラル教室を実施したりする。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	教員対象に情報モラルの効果的な指導方法についての研修会を実施。セーフティ教室等で、情報モラルについての公開授業を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続
26年度事業成果 (Do)	関連企業から外部講師を招き、教職員を含め、児童・生徒の情報モラル教育研修を実施することができた。						
評価 (Check)	/	B	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	全校で情報モラル等に関する教育を実施し、情報モラル教育の充実を図る。						

情報活用能力向上のための研修会の実施

事業番号	19	優先	A	担当	指導室		
事業内容	ICTを円滑かつ効果的に活用するために、教職員対象の研修会を実施し、教員の情報活用能力の向上を図る。						
26年度目標	近隣の大学と連携した教員対象のICT活用能力向上研修会を実施する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	教員対象にICT活用能力向上のための研修会を実施		実施	継続	継続	継続	継続
↓							
26年度事業成果 (Do)	小金井第三小学校の教員が近隣の大学と連携し、ICTを活用した研究授業を行い、校内研修会を行った。						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	ICTの活用をしている学校の実践を校長会で紹介し、全校でICTを活用した授業実践の充実を図る。						

近隣大学等の連携

事業番号	20	優先	B	担当	指導室		
事業内容	東京学芸大学等と連携して「青少年のための科学の祭典」を開催している。理科教育を推進するため、近隣大学や企業とのさらなる連携を図る。						
26年度目標	近隣の大学教授による出前授業の実施、教員研修の充実を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	出前授業、科学講座の開催の検討		検討	検討	試行	試行	充実
↓							
26年度事業成果 (Do)	市内の中学校が「青少年のための科学の祭典」にブースを出展した。また市内小中学生に対して科学の祭典の科学研究作品等に募集案内を行い、理科教育に対する興味関心を高める機会の提供を行った。						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	東京学芸大学や東京農工大学と連携し、理科教育充実に向けた小中学校への出前授業や教員研修会等の充実を図る。						

理科支援員の配置

事業番号	21	優先	A	担当	指導室		
事業内容	小学校に理科支援員を配置し、理科の授業における観察・実験等の活動の充実を図る。						
26年度目標	理科支援員を活用し、小学校の理科授業の質の向上を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	各小学校に理科支援員を配置	充実	充実	充実	充実	充実	充実
↓							
26年度事業成果 (Do)	理科支援員を小学校に配置し、理科室等の学習環境の整備や実験・観察の補助を行い、理科授業の充実や安全確保ができた。						
↓							
評価 (Check)		A	A	A	A		
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	理科専攻の大学生や教員免許状を取得している理科支援員を確保し、全小学校での理科授業の充実を図る。						

家庭や地域と連携した道徳教育の推進

事業番号	22	優先	A	担当	指導室		
事業内容	学校・家庭・地域の連携を生かした道徳授業を実施する。						
26年度目標	保護者や地域の方をゲストティーチャーとし、学校・家庭・地域が連携した道徳授業地区公開講座を実施する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	保護者や地域の方をゲストティーチャーとした道徳授業の試行	試行	試行	実施	継続	継続	全小・中学校で保護者や地域の方をゲストティーチャーとした道徳授業の実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	全校で保護者、地域の方が参加し、道徳教育についての意見交換会を行った。また、小金井教育の日で、教育委員会、保護者が連携し、道徳教育についての意見交換を行った。						
↓							
評価 (Check)		A	A	A	A		
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	全校が開催する道徳授業地区公開講座の中で、家庭や地域と連携した道徳教育についての確認を行い、道徳教育の推進を図る。						

道徳副読本の配布

事業番号	23	優先	B	担当	指導室		
事業内容	道徳教育の充実を図るために、小学校、中学校に道徳副読本を配布する。						
26年度目標	中学生へ道徳副読本を配布する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	小学校4～6年生に80冊ずつ配布、全学年への配布拡充の検討	検討	検討	試行	試行	試行	隔年ごとに小学校4～6年生、小学校1～3年、中学生のサイクルで配布
26年度事業成果 (Do)	中学校へ道徳副読本を配布し、各学級で行う35時間の道徳授業の内容を充実させることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	小学校、中学校における道徳副読本の活用方法とその効果を検証し、道徳副読本の更なる活用を図る。						

一校一運動の推進

事業番号	24	優先	A	担当	指導室		
事業内容	各校が体力向上のための重点目標を設定し、体力のさらなる向上を図るとともに運動が好きな児童・生徒の増加を図る。						
26年度目標	「一校一取組」「一学級一取組」を生かし、各校における体育的活動を意図的・計画的に実施させる。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	各学校における体育的活動の試行	実施	継続	継続	継続	継続	各学校における体育的活動の実施
26年度事業成果 (Do)	一校一運動の推進に向け、全中学校で「一校一取組」の実施、全小学校で「一学級一取組」を実施し、体力の向上を図ることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	2020年オリンピック・パラリンピックの開催を受け、東京都と連携したオリンピック・パラリンピック教育を推進する。また、モデルとなる事例を全校に広め、一校一運動の推進、充実を図る。						

体力調査の実施

事業番号	25	優先	B	担当	指導室		
事業内容	児童・生徒の体力の実態を把握するために各校で体力調査を実施し、体力向上推進委員会を中心に分析し、体力向上施策に反映させる。						
26年度目標	全小・中学校で体力調査を実施すると共に、調査結果を生かした体育授業の改善、生活の見直しを図り、生涯に渡って運動に親しみ、健康を維持する素地を養う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	体力向上推進委員会の設置、体力調査の検討	検討	検討	試行	試行	試行	小学校5年生と中学校2年生の体力調査の実施及び結果分析の委託
26年度事業成果 (Do)	体力向上推進委員会の中で体力調査の実施及び結果の分析を行い、各校の体育授業の改善に反映させた。また、全学校で、「一校一取組」の実施、「一学級一取組」を推進させ、体力向上につなげることができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	体力向上推進委員会の中で体力調査の実施や体育授業の改善についての研究を行い、全校の体育の指導や体育的活動の改善に反映させた。						

食育の推進

事業番号	26	優先	C	担当	学務課・指導室		
事業内容	各小・中学校の食育リーダーの教員を中心に食に関する指導を計画的に進める。食育リーダー会議で給食指導や家庭科の授業等における食に関する学習の実践・研究を行い、学校での食育の推進とともに家庭における食生活の大切さの理解を図る。						
26年度目標	小中学校で食に関する指導計画を作成し、食に関する取り組みや授業を実施する。食育全体計画を充実させ、学校教育全体で行う食育に関する授業の充実を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学校での食に関する指導の計画策定リーフレットの検討	検討	検討	検討	検討	試行	家庭での食生活に関するリーフレットの作成・配布
26年度事業成果 (Do)	全校で、食に関する指導計画を作成し、食育への取組や授業を実施した。また、食育リーダー会議では、講演会（最近の栄養学研究の動向）を行い、栄養学の知識の再確認や最近の諸問題について理解を深めた。また市内全校で食育全体計画を作成し、江戸東京野菜を活用した給食の献立作りや学校教育全体で行う食育学習の充実を図り、健康な食生活についての理解と実践力を育むことができた。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	食に関する指導計画の策定は定着しており、各学校で取り組みや授業を実施している。今後は、食育の一層の推進を図るとともに、家庭での食生活に関するリーフレットについて具体的な内容の検討を行っていく。給食指導をはじめとする学校で取り組む食育について、給食便りや学校ホームページ等を通じて、児童・生徒及び家庭に広く伝え、学校、家庭が連携した食育の推進を図る。						

特別支援教室の確保

事業番号	27	優先	B	担当	指導室		
事業内容	特別な支援が必要な児童・生徒への支援をさらに充実させるために特別支援教室を設置する。						
26年度目標	市内小中学校に特別支援教室の必要性を周知し、設置可能な学校から特別支援教室の設置を目指す。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	検討	検討	検討	試行	試行	充実	各校に特別支援教室を設置
26年度事業成果 (Do)	校長会、設置校長会、特別支援教育研修会を利用し特別支援教室の必要性を周知した。また、市内6校に特別支援教室を設置し、8校で特別支援教室の機能を果たす教室の設置、活用を促した。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	小金井市が取り組んできた特別支援教室設置についての成果と課題等を参考に、東京都が進める小学校での特別支援教室の円滑な導入を視野に入れ、小金井市に適した特別支援教室の確保、設置についての研究を行う。						

特別支援学級の増設

事業番号	28	優先	A	担当	庶務課・学務課・指導室		
事業内容	計画的に特別支援学級を開設することで、一人一人の児童・生徒へ対応した指導の充実を図る。						
26年度目標	平成23年度・25年度の特別支援学級の開設を受け、障害種別や程度に応じた支援指導についての研究を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	特別支援学級（固定学級、通級指導学級）の開設を検討	試行	充実	充実	充実	充実	充実
26年度事業成果 (Do)	平成23年度・25年度に開設した特別支援学級を活用し、特別支援教育の重層的な支援、指導体制づくりを推進した。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	通常の学級、特別支援教室、通級指導学級、特別支援教室の効果的な連携に基づいた特別支援教育の充実についての研究を進める。						

特別支援教育支援員の配置

事業番号	29	優先	A	担当	指導室		
事業内容	特別支援教育支援員等の拡充を進め、特別な支援が必要な児童・生徒への支援をさらに充実させる。						
26年度目標	6人の特別支援教育支援員を小中学校に配置する。また、3人の特別支援教育学習指導員を小中学校に派遣する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	学習指導員を小学校に配置 中学校通級指導学級に配置 配置拡充の検討	試行	充実	充実	充実	充実	充実
26年度事業成果 (Do)	特別支援教育学習指導員については、小学校で2人、中学校で1人の計3人を配置し、平成26年度は25名の巡回指導を行った。特別支援教育支援員については、支援員を1人を増員し、6人体制で指導、支援に取り組んだ。						
評価 (Check)	/	B	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	一人一人の児童・生徒のニーズに照らした指導、支援に向け、特別支援学習指導員、特別支援教育支援員の配置体制や資質向上等について研究し、その充実を図る。						

学校評価の推進

事業番号	30	優先	C	担当	指導室		
事業内容	学校経営計画に基づいた特色ある教育活動について、その重点取組等を保護者や地域に説明し、保護者や地域からの学校評価の充実を図る。						
26年度目標	市内全校で小金井市学校運営連絡会、保護者による学校関係者評価と学校自己評価を実施し、その結果の公表や説明を適切に行う。また、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	第三者評価の検討	検討	検討	検討	検討	試行	第三者評価の試行
26年度事業成果 (Do)	市内全校で年3回の小金井市学校運営連絡会、保護者アンケートによる学校関係者評価や学校自己評価を行い、その結果を学校便りやホームページ等により保護者、地域に説明した。また、5校の学校では学校・家庭・地域の連携協力についての研究を行った。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成26年度は、5校の学校で学校、家庭、地域の連携についての研究を行った。今後は、全校で家庭、地域の連携についての研究に取り組む。また、学校評価等に基づいた学校、家庭、地域の連携・協力について検証を進め、有識者等を含めた第三者評価の在り方についての研究を推進する。						

情報教育アドバイザー派遣の充実

事業番号	31	優先	C	担当	指導室		
事業内容	学校に配置されたコンピュータ機器、地上デジタルテレビを活用した授業をサポートする情報教育アドバイザーを拡充して配置し、授業のサポートや情報機器のメンテナンスを行える体制をつくる。						
26年度目標	情報教育アドバイザーの業務内容を学校に周知するとともに、学校のニーズに合わせた素早い対応を実現する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	情報教育アドバイザーの拡充の検討	検討	検討	検討	検討	検討	全小・中学校へ情報教育アドバイザーを1週間に1日派遣
26年度事業成果 (Do)	市内全ての学校に情報教育アドバイザーを派遣し、授業サポートや情報機器のメンテナンスを行うことができた。						
評価 (Check)		A	A	A	A		
進捗状況と今後の展開 (Action)	情報教育アドバイザーを活用し、全校のICT教育等の普及、促進を図る。						

コンピュータ管理業務者派遣の充実

事業番号	32	優先	A	担当	指導室		
事業内容	コンピュータの保守、点検、整備、コンピュータ操作、活用に係る助言・相談を行うコンピュータ管理業務者を現在の1名から増員し、各学校に必要なに応じて派遣する。						
26年度目標	コンピュータ管理業務者による学校のニーズに合わせた素早い対応を実現する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	コンピュータ管理業務 (ICT支援員) を3名増員試行	充実	充実	充実	充実	充実	コンピュータ管理業務者の増員充実
26年度事業成果 (Do)	各学校の要望に応え、コンピューターの保守、点検等の支援に取り組み、早期対応・早期解決を図ることができた。						
評価 (Check)		B	A	A	A		
進捗状況と今後の展開 (Action)	定期的な学校への巡回を行い、教育委員会が進めるICT活用事業や学校におけるコンピュータを活用した校務改善についての相談、助言にあたるようにする。						

教育用コンテンツ管理システムの構築

事業番号	33	優先	C	担当	庶務課・学務課・指導室		
事業内容	教員一人に1台校務用パソコンを配置し、校内LAN敷設により業務の効率化を図り校務を軽減する。さらに各学校間、市立図書館、教育委員会ともネットワークを結んでいく。						
26年度目標	校務用パソコンの活用について検討するとともに、学校図書館システムを活用する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	校内コンピュータ環境の整備、ネットワークの検討	検討	検討	検討	検討	検討	教育委員会等とのネットワークの試行
26年度事業成果(Do)	各校で成績処理や教育過程の管理にあたり、校務用パソコンを活用し、校務改善の推進を図ることができた。						
評価(Check)	/	B	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	学校、教育委員会等のパソコンによるネットワーク化が進んでいないので、担当課が連携しその実現に向けた研究に取り組む。						

スクールカウンセラー派遣の充実

事業番号	34	優先	C	担当	指導室		
事業内容	いじめ、不登校等の問題を早期発見・早期対応するために、子供たちが困っていることを気軽に相談できるように全小中学校にスクールカウンセラーを派遣する。						
26年度目標	全小・中学校のスクールカウンセラーの問題解決力の向上といじめ・不登校の未然防止、早期解決を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	全小・中学校の派遣の拡充の検討	検討	検討	検討	検討	試行	全小・中学校の派遣の充実
26年度事業成果(Do)	全小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、各校の教育相談組織の中に明確に位置付けたことで複雑、多様化した教育相談対応の充実を図った。						
評価(Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携・協力体制を強化し、いじめ、不登校、問題行動の早期対応・早期解決を図る。						

スクールソーシャルワーカーの派遣

事業番号	35	優先	A	担当	指導室		
事業内容	不登校や虐待、問題行動傾向のある児童・生徒への指導充実を図るために、専門的な資格をもつスクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関との連絡調整を図る。						
26年度目標	市内全小中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、福祉の観点からの支援を行う。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	試行	試行	試行	試行	試行	試行	学校の要請に応じたスクールソーシャルワーカーの派遣の充実
26年度事業成果 (Do)	3名のスクールソーシャルワーカーが全校を巡回し、教育相談体制の充実及び家庭への直接的な支援に向けての活動に取り組んだ。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	スクールソーシャルワーカーの職務内容の整理や教員、保護者、市民等への周知を図り、教育相談体制の充実を図る。						

特別支援学級の冷暖房設備の整備

事業番号	36	優先	A	担当	庶務課・学務課		
事業内容	特別支援学級には、体温調節が苦手な児童・生徒が在籍することから、子どもたちが集中して学習できるように、冷暖房設備の設置を進める。						
26年度目標	平成25年度に全ての学級に設置が完了した。平成26年度については整備が必要な学級はないため目標を設定しない。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	梅の実学級、6組の教室に冷暖房設備の設置の試行	充実	充実	充実	充実	充実	梅の実学級、さくら学級の各教室に設置
26年度事業成果 (Do)	平成25年度に設置が完了しており、平成26年度事業成果はない。						
評価 (Check)	/	S	A	A	S	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	今後、新たな特別支援学級の開設や学級数の増があった場合は、設置について検討を行うこととする。						

校庭の芝生化の推進

事業番号	37	優先	A	担当	庶務課		
事業内容	校庭の芝生化等による緑化を行い、ゆとりと潤いのある教育環境をつくることに加え、環境保全の意識の向上を図る。						
26年度目標	市立中学校 1 校の校庭を芝生化する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	校庭芝生化の試行	充実	充実	充実	充実	充実	校庭芝生化の充実
↓							
26年度事業成果 (Do)	南中学校運動場芝生整備工事を行い、中学校 1 校の校庭芝生化を実施した。						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	C	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	14校中6校の芝生化を完了したが、将来的な全校実施に向け、学校や校庭利用団体等の芝生化への理解促進に努める。また、芝生化が完了した学校への維持管理方法の指導などのサポートを行っていく。						

太陽光発電や風力発電の推進

事業番号	38	優先	A	担当	庶務課		
事業内容	学校へ太陽光発電や風力発電の導入をする事で、温室効果ガス排出量の削減を図るとともに環境問題や環境保全の学習に活用する。						
26年度目標	市立小中学校に太陽光発電や風力発電を導入する						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	設置校での取組成果の周知と設置の試行	充実	充実	充実	充実	充実	設置の充実
↓							
26年度事業成果 (Do)	目標達成はできなかったが、今後に向けて引き続き検討を行った。						
↓							
評価 (Check)	/	A	C	C	C	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	太陽光発電や風力発電の整備については、各学校の実情に応じ、計画的に行っていく必要がある。						

点検及び評価表（生涯学習）

1 概要

生涯学習では、小金井市教育委員会の基本方針及び第2次小金井市生涯学習推進計画に基づいた平成26年度教育施策を推進するための様々な事業を展開し、点検及び評価に当たっては、24事業を評価対象とした。

平成26年度については、全24事業中20事業についてA評価「概ね達成している」と評価した。

事業全体の8割以上がA評価となったことは、生涯学習における事業が大きな問題なく推進できているものと評価する。

具体的に前年度の評価結果と比較すると、「文化財センター維持管理事業」は評価Aから評価Bとなった。これは入館者数の減少など、当該年度目標が達成できなかったためB評価「ある程度達成している」とした。

今後は、A評価の事業はS評価に、B評価の事業はまずはA評価にすべく、担当課が中心となり小・中学校、関係部局、関係諸機関と連携し、事業目標の達成に向けて課題の解決を図っていくこととする。

2 評価結果総括

	事業数	S	A	B	C	D
(1) 生涯学習の推進	5	1	3	1		
(2) 青少年教育の推進	3		3			
(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進	3		2	1		
(4) 文化財の保存と啓発活動	4		3	1		
(5) 公民館の充実	3		3			
(6) 図書館の充実	2		2			
(7) 社会教育施設の整備	4		4			
合計	24	1	20	3	0	0
内訳 (%)		4.17%	83.33%	12.50%	0.00%	0.00%

3 評価表

まなびあい出前講座							
事業番号	39	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市民・団体が主催する学習会に、市役所・警察署・消防署や各種団体・企業の職員が出向き、担当事業などについての講演・講座を実施することにより、市民の生涯学習活動を支援する。						
26年度目標	実施回数55回、聴講者数1,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	出前講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	出前講座の実施
26年度事業成果(Do)	実施回数35回、聴講者数921人						
評価(Check)		-	A	A	A		
進捗状況と今後の展開(Action)	市民のニーズに的確に対応するため、新規事業等、新たに講座として追加できるものがないか毎年確認等を行っている。今後もアンケート等を参考に柔軟な対応をし、継続して実施する。						

青少年のための科学の祭典							
事業番号	40	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	教育・研究機関及び各種企業・団体等との連携により、実験やものづくりブースなど、青少年に科学の楽しさ・不思議さを体験してもらうイベントを開催する。中学生のボランティアも募り、社会体験の場を与えている。						
26年度目標	来場者数8,000人、中学生ボランティア100人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	科学の祭典の実施	継続	継続	継続	継続	継続	科学の祭典の実施
26年度事業成果(Do)	来場者数7,560人、中学生ボランティア70人						
評価(Check)		A	A	S	S		
進捗状況と今後の展開(Action)	今後も引き続き無事故で開催できるよう万全の対策を図る。中学生ボランティアについては、人に説明したり教えたりすることの難しさを体験すると同時に、やり終えた後の達成感を得られたの感想も多くあった。さらなる来場者数とボランティア数の増加を目指す。						

中近東歴史文化講座

事業番号	41	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	中近東文化センターと連携し、市民を対象とした中近東に関する歴史、文化及び美術等を主題とした講座を開催する。						
26年度目標	延べ参加者150人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	中近東歴史文化講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	中近東歴史文化講座の実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	延べ参加者76人						
↓							
評価 (Check)	/	B	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成25年度から中近東文化センターが博物館と図書館の一般公開が終了した。事業内容は、普段公開していない施設を市民の方に公開し、観覧する機会を提供するとともに、中近東の歴史について、専門家による講座を3回実施した。						

ボランティアセミナー

事業番号	42	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	小平市、国分寺市、小金井市、東京学芸大学と連携し、コーディネーターや学習アドバイザーなどのボランティアを養成する講座を開催する。						
26年度目標	受講者数160人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	ボランティアの向上に関する三市・学芸大連携講座	継続	継続	継続	継続	継続	ボランティアの向上に関する三市・学芸大連携講座の開催
↓							
26年度事業成果 (Do)	延べ受講者数76人						
↓							
評価 (Check)	/	-	B	B	B	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	講座を受講された方が地域で活動できる場所が十分に確保されていないため、3市・学芸大と協議し、ボランティアの課題解決に必要なテーマで講演を行っていく。						

団塊の世代のための地域参加講座

事業番号	43	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	定年対象を迎える方等を対象に、市の歴史、地域活動や暮らし方などを紹介する講座を開催する平成26年度から「シニア世代のための地域参加講座」と名称を変更した。						
26年度目標	講座参加者数200人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	団塊の世代のための地域参加講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	シニア世代のための地域参加講座の実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	講座参加者数延べ72人						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	受講者の追跡調査等を行い、地域活動への参加状況を把握するとともに、講座内容の更なる充実を目指す。						

家庭教育学級

事業番号	44	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	家庭教育の諸問題、家族関係、子どもの健康や遊び、文化等をテーマとした講座・講演・イベント等を各校年1回企画・実施する。						
26年度目標	実施回数14講座、参加者数2,800人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	家庭教育学級開設	継続	継続	継続	継続	継続	家庭教育学級開設
↓							
26年度事業成果 (Do)	実施回数14講座、参加者数2,613人						
↓							
評価 (Check)	/	-	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	今後も事業目的の理解の徹底を図りつつ、実施を継続する。						

放課後子ども教室

事業番号	45	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	放課後や週末等に学校施設等を活用し、地域の方々の参画を得て、読書教室や工作教室、校庭遊び等を実施する。						
26年度目標	参加人数26,000人、実施回数550回						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	放課後子ども教室の実施	継続	継続	充実	継続	継続	放課後子ども教室の実施
↓							
26年度事業成果(Do)	参加人数31,260人、実施回数792回						
↓							
評価(Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開(Action)	平成25年度から、各小学校区に1人ずつコーディネーターを配置することができ、学校・地域・行政の連携、校区間の調整を密にすることができた。今後も、ボランティアの確保等の課題に取り組み、より円滑な運営を目指す。						

少年自然の家維持管理事業

事業番号	46	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	少年自然の家（清里山荘）を、自然の中で気軽に利用でき親しみのもてる施設、安全で利用しやすい施設とすることを基本として、指定管理者制度を導入し効率的・経済的に管理運営する。						
26年度目標	利用者数10,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	少年自然の家維持管理	継続	継続	継続	継続	継続	少年自然の家維持管理
↓							
26年度事業成果(Do)	利用者数8,446人						
↓							
評価(Check)	/	-	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開(Action)	障がいのある方のための部屋の浴室の使い勝手の改善や、団体棟のトイレの改修などについては延伸となっており、今後も計画的な施設の改修等を行い、安全な運営と更なる利用促進を図る。						

市民体育祭

事業番号	47	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会をつくり、スポーツを通じた健康の維持増進を図る。水泳、野球、テニス、卓球、弓道、ラジオ体操等、全29種目の大会を実施する。						
26年度目標	延べ参加者数7,369人（平成25年度実績）						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	市民体育祭の実施	継続	継続	継続	継続	継続	市民体育祭の実施
26年度事業成果 (Do)	延べ参加者数7,817人						
評価 (Check)		A	A	B	B		
進捗状況と今後の展開 (Action)	参加者数が減少傾向にある。近隣市や市内大学等との連携を図り、会場の確保に努める。						

体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助事業

事業番号	48	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	スポーツ行政に深く関わりのある体育協会と総合型地域スポーツクラブに対して、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。スポーツ団体への運営経費を補助することにより、スポーツの振興を図る。						
26年度目標	婦人子供スポーツ大会参加者数1,600人、各種共催大会参加者数8,400人 卓球教室参加者数1,700人、ティーボール大会参加者数220人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助	継続	継続	継続	継続	継続	体育協会・総合型地域スポーツクラブ補助
26年度事業成果 (Do)	婦人子供スポーツ大会参加者数1,415人、各種共催大会参加者数8,107人 卓球教室参加者数1,870人、ティーボール大会参加者数300人						
評価 (Check)		A	A	A	A		
進捗状況と今後の展開 (Action)	各団体の役割に応じた事業実施、補助金額の妥当性について、定期的に確認・見直しを図りながら団体の活動に対し補助をしていく。						

スポーツ推進委員事業

事業番号	49	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	スポーツ推進委員を委嘱、育成し、スポーツの推進に係る体制の整備を図る。スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を行うとともに、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行えるよう育成を行う。						
26年度目標	障がい者スポーツ指導員（初級）資格取得10人（40%） 研修会等への参加人数延べ70人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	スポーツ推進委員事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	スポーツ推進委員事業の実施
26年度事業成果 (Do)	障がい者スポーツ指導員（初級）資格取得4人 研修会等への参加9回（延べ64人）						
評価 (Check)	/	A	B	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	平成26年度はニュースポーツ出前教室の実施し、5回のうち1回は特別支援学級の児童に対して実施した。 研修会参加率の増を引き続き目指し、障がい者への指導資格についても全員取得を目指す。						

文化財センター維持管理事業

事業番号	50	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市指定史跡である旧浴恩館を保存公開するとともに、同建物を文化財センターとして活用し、郷土の歴史、民俗等に関する資料、保管、展示を行う。						
26年度目標	入館者数4,200人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	文化財センター維持管理	継続	継続	継続	継続	継続	文化財センター維持管理
26年度事業成果 (Do)	入館者数3,344人						
評価 (Check)	/	-	A	A	B	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	入館者数が減少傾向にある。小学生向けの企画展示や、収蔵品の分かりやすい解説書作りに努める。 旧浴恩館（木造）及び施設内の文化財等を守るため、防犯・防火対策を強化する必要がある。						

市史編さん活動

事業番号	51	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	小金井市の歴史を学術的に振り返り、今後の市政の発展や、市民の郷土意識の向上のため、小金井市史資料編4冊及び通史編1冊を刊行する。						
26年度目標	市史編さん資料集第54編の発行						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	市史編さん活動の実施	充実	充実	実施	充実	実施	市史編さん活動の実施
↓							
26年度 事業成果 (Do)	市史編さん資料集第54編の発行						
↓							
評価 (Check)	/	B	B	A	A	/	/
↓							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	市史の発行は27年度に現代編、28年度に近世編、29年度に考古編、30年度に通史編を発行予定。 各部長のもと、調査員が編さん資料の調査研究を進めていく。 市民協働の立場から市民協力員に資料の収集・調査活動への協力をしていただく。						

古文書講座

事業番号	52	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	古文書の専門家に講師を依頼し、小金井市文化財センターにおいて年3回講座を実施する。						
26年度目標	受講者60人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	古文書講座の実施	継続	継続	継続	継続	継続	古文書講座の実施
↓							
26年度 事業成果 (Do)	受講者81人						
↓							
評価 (Check)	/	-	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と 今後の展開 (Action)	古文書に興味のある方へ基礎知識の習得を支援するとともに、今後も継続して実施していく。受講後、古文書に興味を持った方が自主活動グループへ参加する方がいるので、新たな人材確保につなげ市史編さん等に協力していただく人材として育成する。						

名勝小金井（サクラ）復活プロジェクト

事業番号	53	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	「玉川上水・小金井桜整備活用計画」（平成22年3月策定）に基づき、関係機関・市民と協働で史跡玉川上水及び名勝小金井（サクラ）のよりよい整備活用を図る。						
26年度目標	市民協働でヤマザクラを補植するとともに、本事業の意義を多くの市民に理解してもらう。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	名勝小金井（サクラ）復活プロジェクトの実施	継続	継続	継続	継続	継続	名勝小金井（サクラ）復活プロジェクトの実施
26年度事業成果 (Do)	東京都及び市民団体と協働で18本のヤマザクラを補植した。市民説明会を開催し、整備結果や実施計画の周知を図った。						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	ヤマザクラ並木の整備については、モデル区間以外の整備を計画的に進めていく。市境周辺のヤマザクラ並木は近隣市との調整が必要。人道橋や緑道の整備については、近隣住民への説明の上、工事を進めていく。						

青年国際交流講座「生活日本語教室」

事業番号	54	優先	-	担当	公民館		
事業内容	日本語の日常会話に不自由している市内在住及び近隣の外国人に対して、ボランティアスタッフが、毎週土曜日の午前中、市民生活に必要な日常会話の学習を支援するほか、各種イベントを開催し、外国籍市民との交流活動を推進する。						
26年度目標	参加者の日本語の日常会話の技術向上及び参加者同士及びスタッフとの交流並びにイベント開催による参加者の日本文化への理解促進。 年間43回、延参加人数1,040人、延ボランティアスタッフ855人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	市民生活に必要な日本語の日常会話の学習や各種イベントなどを通じた外国籍市民との交流活動	継続	継続	継続	継続	継続	継続
26年度事業成果 (Do)	日本語学習をはじめ、七夕、野外研修、新年会、日本文化体験等のイベントを開催した。 年間45回、延参加人数1,176人、延ボランティアスタッフ895人						
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開 (Action)	引き続き、市民生活に必要な日本語の日常会話の学習や各種イベントを開催し、公民館を活用した外国籍市民との国際交流事業として前年度実績程度を目標に継続する。						

ITサポート事業「こがねいパソコン相談室」

事業番号	55	優先	-	担当	公民館		
事業内容	ITボランティアの協力により、各公民館で毎週水曜・日曜日の午後1時から3時まで、予約なしで無料のパソコン相談を開催						
26年度目標	市民のデジタルディバイド（情報格差）の解消を図るため、個々人のパソコン操作に伴うスキルアップやパソコンに関する具体的な問題について解決する。 年間相談回数457回、延相談者数1,018人。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	市民個々人のパソコン操作に関するスキルアップやパソコンに関する具体的な問題の解決	継続	継続	継続	継続	継続	継続
26年度事業成果(Do)	多くの市民の相談に応じることができ、パソコン操作のスキルアップ、パソコンに関する具体的な問題の解決が図られた。また、新設の貫井北分館でも7月から事業開始した。 年間相談回数516回、延相談者数1,245人						
評価(Check)	/	B	B	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	数値的な指標の設定が難しい面があるが、理想の目標としては、相談により問題が解決することで市民のITに対するスキルアップが図られ、相談者数が減ることである。IT化が進む中、パソコンを使いこなせる市民も多くなっている。一方で、情報機器が日進月歩で進歩しており、ITの活用に不慣れな市民の相談も多いことから相談室を継続する。						

市民がつくる自主講座

事業番号	56	優先	-	担当	公民館		
事業内容	公共性のある地域課題、生活課題について市民自身が講座を企画運営することの重要性が増している。市民自身の手による学習活動を支援し、地域の生涯学習活動の活性化に寄与する。						
26年度目標	市民による幅広い内容の講座を実施できるよう支援する。合わせて自主グループ化を目指す。市民の自主的な学習意欲を喚起・保障するとともに、学習範囲を広げる。 10講座、男女共同参画部門5講座、計15講座。延参加者数624人。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	市民による様々な地域課題についての講座開設に対する支援	継続	継続	継続	継続	継続	継続
26年度事業成果(Do)	地域課題を含め、市民の希望による多種多様な講座が実施できた。また、述べ参加者数も多かった。 10講座、男女共同参画部門7講座、計17講座。延参加者数1,045人。						
評価(Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	応募者の希望により講座数の増減があったり、参加者の増減があったりするが、数値目標だけで成果といえない性格もあると考える。特に男女共同参画部門では、多様な切り口での講座が開催されたが、男女共同参画部門として適切かどうかの判断が難しいものもあった。目的に沿った講座となるよう、学習活動を支援していく。						

ハンディキャップサービス事業

事業番号	57	優先	-	担当	図書館		
事業内容	小金井市立図書館処務規定第4条及び小金井市立図書館ハンディキャップサービス実施要綱により、視覚障がいをお持ちの方等を対象とした図書を作成し、読書の機会の拡充を図る。						
26年度目標	デイジー図書作成：3タイトル 点字図書作成：3タイトル 録音図書作成：3タイトル 他館貸出：録音テープ 10タイトル、デイジー図書 5タイトル 他館借用：録音テープ 5タイトル、デイジー図書 10タイトル						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
↓							
26年度事業成果 (Do)	デイジー図書作成：4タイトル 点字図書作成：3タイトル 録音図書作成：0タイトル 他館貸出：録音テープ 25タイトル、デイジー図書 1タイトル 他館借用：録音テープ 1タイトル、デイジー図書 5タイトル						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	講習会等を開催し、各方面のボランティアの育成に努める。また、広報等でより多くの方が図書館を利用できるように努める。						

図書館児童サービス事業

事業番号	58	優先	-	担当	図書館		
事業内容	児童に対する読書活動の推進を図るため、「おはなし会」等を実施する。						
26年度目標	おはなし会 延べ参加者数 約1,300人 (25年度は開催回数73回、延べ参加者数1,241人)						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
↓							
26年度事業成果 (Do)	おはなし会：開催回数 109回、延べ参加者数 1,466人 子どもと読書に関する講座：開催回数 5回、延べ参加者数 81人						
↓							
評価 (Check)	/	-	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	第2次小金井市子ども読書活動推進計画に沿って展開していく。また、広く啓発活動を行い、参加人数を増やすよう努める。						

総合体育館維持管理事業

事業番号	59	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	総合体育館を、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として供するため、指定管理者制度を導入し、効率的・経済的に管理運営する。個人・団体ともに利用しやすく、安全を確保するため、施設及び設備整備の充実を図る。						
26年度目標	総合体育館利用者数290,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	総合体育館維持管理事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	総合体育館維持管理事業の実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	総合体育館利用者数314,991人 総合体育館改修工事実施設計委託を行った。						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	引き続き大規模改修工事を順次整備を進めていく。						

スポーツ開放・学校開放事業

事業番号	60	優先	-	担当	生涯学習課		
事業内容	市内小中学校の体育施設や総合体育館及び栗山公園健康運動センターのプールを地域開放する。体育施設を地域開放することで、市民のスポーツ活動の場を確保し、より多くの市民にスポーツの機会を提供する。						
26年度目標	スポーツ開放校参加者数3,400人、土曜スポーツクラブ参加者数450人、一中クラブハウス11,100人、南中テニスコート70人、プール無料開放2,000人						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画 (Plan)	スポーツ開放・学校開放事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	スポーツ開放・学校開放事業の実施
↓							
26年度事業成果 (Do)	スポーツ開放校参加者数3,005人、土曜スポーツクラブ参加者数593人、一中クラブハウス9,727人、南中テニスコート69人、プール無料開放1,701人						
↓							
評価 (Check)	/	A	A	A	A	/	/
↓							
進捗状況と今後の展開 (Action)	市内各学校においても地域住民のために夜間や休日の貸し出しを行っている。引き続き、学校との連携を図りつつ、施設の有効利用をしていきたい。						

図書館維持管理業務

事業番号	61	優先	-	担当	図書館		
事業内容	適切な施設の維持管理を図り、利用者に安全で快適な読書環境を提供する。						
26年度目標	修繕計画に基づき、利用者に安全で快適な読書環境を提供するため、早急に修繕が必要な箇所から修繕する。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続
26年度事業成果(Do)	【平成26年度に行った主な施設修繕等】 ・ブックポスト修繕 ・デジタルアナウンスマシーン修繕 ・本館蛍光灯取替え ・図書館別館木製扉修繕						
評価(Check)	/	A	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	昭和50年開館の図書館本館は老朽化が進んでおり、順次、修繕している状況である。今後は利用者等の安全を確保する為、緊急性のある箇所から順次改修工事を行う。						

公民館維持管理事業

事業番号	62	優先	-	担当	公民館		
事業内容	施設の整備を図り、利用者への利便に供する。						
26年度目標	公民館本館は昭和43年建設の福祉会館内の施設であり、全体的に老朽化した施設である。公民館5館の安全、安心、快適な施設環境を市民に提供するために、故障箇所を修繕し、整備を図る。						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
計画(Plan)	公民館施設の維持管理に必要な各種業務の実施を行う。	継続	継続	継続	継続	継続	継続
26年度事業成果(Do)	施設外の生活環境に配慮し、小金井市貫井南センター内窓設置工事を実施した。老朽化及びバリアフリー化のため本町分館トイレ等改修工事を実施した。その他施設の維持管理のため必要に応じて保守点検や修繕を行った。						
評価(Check)	/	S	A	A	A	/	/
進捗状況と今後の展開(Action)	公共施設の維持管理に必要な保守点検及び、故障箇所の修繕を行うと共に、今後計画的な改修工事の実現のため、中期的な大規模改修計画策定の検討と補助金の活用を図り、整備していく。						

平成27年度 点検・評価に関する有識者の意見

小金井市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、平成27年度（平成26年度評価分）における小金井市教育委員会の点検及び評価を実施するに当たり、有識者から御意見をいただきました。

剣持 勉 委員（帝京大学教授）

小金井市の施策が、小金井市の独自性として質の高い施策となるよう、計画にある継続、充実、推進が目に見える形で生かされる評価を行う必要がある。

小金井市の施策が全国レベルとして、半歩一步でもモデル地域としての立場を担えるものにしていくべきである。

実現に当たっては、現場への負担ではなく、各校、各事業所の柔軟性のある対応を行い、魅力ある小金井市にしていくことが求められている。

上記を踏まえ、詳細について次に意見するので参考にされたい。

1 評価について

全体的な評価がAと高いが、基本的な評価の在り方として設置や配置の評価と活用レベルなどの評価を区別する必要がある。数値目標の考え方も積極的に取り入れる必要がある。

2 基本方針1にある「人権尊重の精神」「社会貢献の精神」のレベルアップの必要性について

人権教育の推進とうたっているが、教師の人権意識、言語感覚、児童・生徒相互の言語感覚の育成に向けた取り組みが欠かせない。施策として重視する必要がある。施策の中にどう反映されているかを明確にされたい。

3 量から質を高める施策を

数値目標だけが目標となるのではなく、質的向上をどう評価するかを明確にして施策に反映させる必要がある。

4 授業の質を高める、授業力向上研修会などの施策について

どうなると授業が成立することになるのか、話し合い活動がどうなると成立したことになるのか等を明確にした授業力向上を図る必要がある。若手が若手を指導・助言する時代に入っているので、スピードアップした対応が求められる。質の高い教員を養成する施策を具体化した内容として反映させる必要がある。

5 大学との連携について

大学のインターンシップ事業を積極的に取り入れ、学生の受け入れをこれまでに以上に積極的に取り組み、地域ぐるみの教育を小金井市が行っていることをアピールしてみてもどうか。そして大学における具体化された施策と教育委員会の施策が同じ考えに基づいて、将来的な展望を見据えて推進されることを期待したい。また、ボランティア活動の促進として、学生を登用できる条件を整備する必

要がある。

6 道徳教育について

副読本の配布レベルから道徳的実践力を身に付ける手立てをどう講じていくかを考える必要がある。道徳の教科化に向けてのスピードアップした取り組みが求められている。

腰越 滋 委員（東京学芸大学准教授）

第一に、平成26年度の「学校教育」の項目であるが、事業全体の9割以上、即ち全38項目中36事業についてA評価（「概ね達成している」）となっている点は、平成25年度と同等であり、高い達成水準にあると言える。

具体的には、平成25年度にC評価であった「校庭の芝生化の推進」は、未達成だった1校の芝生化が達成されA評価に転じ、またAであった「特別支援学級の冷暖房設備」も、必要な学級への設置が全て完了したということで、S評価にランクアップしている。

ただし、「太陽光発電や風力発電の推進」については、平成25年度・26年度と、未だ十分な導入には至っていないようで、C評価のままである。まずは試験的にでも導入実績を増やし、「省エネに資する」という科学的根拠となるデータを採取して見てはどうか。というのは、長期的にみて節約できることが実証されれば、太陽光や風力を取り入れた発電施設の設置へ向けての予算措置要求がしやすくなると考えられるからである。

更に「学校教育」の項目全般について付言する。昨年度の委員からも指摘された教員の授業力向上に向けての取り組みについて、前年度に比べてどのような善処が見られ、どのような前進がみられたのかが、いま1つ判然としなかった。

具体的に述べよう。教員の授業力向上については、平成26年度教育施策「わかる・できる・活かす授業」に対応した事業11から15が該当すると思われるが、平成24年度以降、評価(check)欄は全てA（「概ね達成している」）とはなっている。だが、前年度を踏襲しているだけのようにも見えなくもない。

どうやら平成28年度が検証年度の1つの区切りと思われ、平成28年度には「優れた指導力をもつ教員を教育委員会が表彰」し(事業番号11)、「全教員が年1回研究授業を実施」し(事業番号12)、「(子どもの学習に関する実態把握に関して)市で統一様式を作成し実施」し(事業番号13)、「補習授業等の全校実施」を行う(事業番号15)、と謳われている。

平成28年度を、1つの到達目標(goal)として設定することに関して異論があるわけではないが、プラン遂行を継続する中での節目たるマイルストーン(里程碑)を、「事業成果(Do)」欄により具体的に示すことによって、目的に向かって善処前進していることが、明確に提示していけるように思うが、如何であろうか。

端的な例で言えば、平成28年度に事業番号11で「優れた指導力をもつ教員を教育委員会が表彰」するにあたり、授業力向上研修会の取り組みとして、平成25年度の事業成果(Do)欄の記述と平成26年度の記述とが、殆ど同様であるように思われる。ここにマイルストーンの考え方を取り入れ、前年度からの前進点・改善点などを強調していくことはできないか。それによって、よりゴールに向か

って前進していることを、明確に示すことが出来るようになるであろう。

第二に、「生涯学習」の項目について言及する。平成25年度は全27事業中22事業がA評価、平成26年度は全24事業中20事業がA評価と、8割以上A評価が堅持されている。平成26年度は前年度に比して3事業減ってはいるが、これらは実施型イベント(平成25年度・事業番号50.スポーツ祭 東京2013開催事業)や、センター開設事業(平成25年度・事業番号59.貫井北町地域センター図書館分室開設事業、平成26年度・事業番号65.貫井北町地域センター建設事業)だったのであり、「生涯学習」事業全般に関して事業が縮小しているわけではなく、例年通りの総合的事業展開と言えよう。

大学に身を置く者として、改めて「生涯学習」事業全般を鳥瞰させて頂くと、大学が連携に関与させて貰っている事業があることに気付く。具体的には、評者の所属大学が明記された「(事業番号42.)ボランティアセミナー」が挙げられるが、セミナー受講後の活動場所確保の困難性が窺われる記述がある。

折しも平成27年度からは、東京学芸大学では教育支援系が新設され、教育支援人材養成に向けて、従前以上に注力される見通しとなった。学校教育現場でも「チーム学校」といった言葉が新聞紙上で飛び交うようになり、学校を支えるボランティア養成に向けての動きも活発化していくように思われる。

私見ではあるが、「チーム学校」を言葉だけのものに終わらせないためには、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーのみを配備するだけではなく、教育支援員や学校支援ボランティアなども充実させ、配備していく必要があるだろう。

そこで、「ボランティアセミナー」に、教育支援人材養成の視点を盛り込んでみてはどうだろうか。現状においてもそのような視点は、既に埋め込まれているのかもしれないが、より明確に記すことで、学校を支援する人材のネットワークを、市教委が中心となって広げていくことが可能になるように思われる。

第三として、点検・評価等会議でも議論になった事柄であるが、「学校教育」項目の評価表と、「生涯学習」項目のそれとのフォーマットについてである。Plan-Do-Check-Action のフォーマットは明快でよいと思う。だが、優先(順位事項)欄(priority)に関しては、「生涯学習」項目では、「学校教育」項目とは評価対象の元になっている計画の枠組みや土台が異なるので、決められないと伺った。それならば、優先順位事項を変えて力点を移していける流行たる「学校教育」項目とは少し異なるフォーマットを、「生涯学習」項目では敢えて不易として堅持してみてもよいのではなかろうか。議論を聞くうち、「生涯学習」事項では、S(達成)すればおしまいという事業は少なく、寧ろ事業を継続していくことが肝要とも受け取れた。すると例えば、持続可能(Sustainable)な観点からの、「学校教育」項目とは異なった評価基準を案出することも可能になるのではないかと思料される。

以上、様々に意見させて頂いたが、リフレクションを含む本報告書のような取り組みは、小金井市教育委員会の実践水準そのものが極めて高いレベルにあることを示している。更なる各事業の進化・発展を期待して、意見具申を終えたい。

木村 洋子 委員（元小金井市立前原小学校長）

「明日の小金井教育プラン」「生涯学習推進計画」に基づいた平成26年度の評価結果は、学校教育の事業が全体の9割以上、生涯学習の事業が全体の8割以上がA評価ということで、中期的な計画として順調に推進されたと評価できる。

また、評価表の進捗状況と今後の展開の内容からも平成27年度、平成28年度（最終年度）に向けて、充実した取組を進めようという様子も伝わってきた。

さらに、点検及び評価を今後の事業に生かしていくためには、次のような点について工夫改善することを提案したい。

- 学校教育と生涯学習では、評価の内容も方法も異なっているが、どちらについても最終的に「達成した（S評価）」という状況をどのように考えるのかが明確でない事業も見受けられた。できるだけ具体的に評価表に明記するようにされたい。
- 計画を検討、試行、実施、継続と進めていく中でその事業に係るデータを活用して、成果を客観的に示すようにされたい。そうすることにより、量的な向上から質的な向上へと高めていく点検・評価ができるようになると思う。
- 5年間の中期的な計画の中で、実態に合わなくなった事業やすでに目標をほぼ達成できていて継続している事業については、評価の対象としなくてもよいのではないか。優先順位との関係で評価対象事業を柔軟に考え、小金井市としての特徴がより鮮明になる事業に焦点化して取り組むという方向も考える必要があると考える。

今後とも教育委員会として、計画の点検及び評価を通して、より実態に即した事業を推進されることを期待する。

参考資料

1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）

（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 小金井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施に関する要綱（平成 21 年 10 月 28 日制定）

（目的）

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、小金井市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ることを目的とする。

（実施方法）

第 2 条 点検及び評価は、小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）を対象とする。

2 点検及び評価は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年度 1 回実施する。

3 教育委員会は、前年度の施策及び事業の進ちよく状況等を取りまとめ、次条の点検及び評価に関する有識者の意見を聴取した上で、点検及び評価を行うものとする。

（点検及び評価に関する有識者）

第 3 条 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置く。

2 有識者の定数は、3 人以内とする。

3 有識者は、教育に関して学識を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は、3 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 有識者に欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議会報告及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価に関する報告書を作成して小金井市議会へ提出するとともに、公表するものとする。

(庶務)

第5条 点検及び評価の実施に関する庶務は、学校教育部庶務課において行う。

付 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成20年10月28日から施行する。

(経過措置)

2 平成20年度に実施する点検及び評価に限り、第2条第1項中「小金井市教育委員会の基本方針に基づく主要な施策（毎年度策定）」とあるのは、「小金井市教育委員会の基本方針に基づく学校教育の指導目標、社会教育の目標」とする。

3 平成26年度教育委員会運営状況

(1) 会 議

定例教育委員会 12回 ・ 臨時教育委員会 1回

(2) 委 員

委員名	任 期	備 考
鮎川 志津子	自 24. 12. 1 至 28. 11. 30	委員長 平成26年4月1日～ 平成27年3月31日
福元 弘和	自 26. 4. 1 至 30. 3. 31	平成26年4月1日就任 職務代理者 平成26年4月1 日指定
渡邊 恭秀	自 25. 7. 11 至 29. 7. 10	
岡村 理栄子	自 26. 4. 1 至 30. 3. 31	平成26年4月1日就任
山本 修司	自 26. 1. 6 至 27. 9. 30	教育長 平成26年1月6日任 命

(3) 定例会・臨時会の審議事項

会 議 名 年 月 日	審 議 事 項	
第 2 回 臨 時 会 26.4.1	選 第 1 号	小金井市教育委員会委員長の選挙について
	選 第 2 号	小金井市教育委員会委員長職務代理者の指定について
	協 議 第 3 号	小金井市教育委員会の議席について

<p>第 4 回 定 例 会 26.4.8</p>	<p>議案第 15 号 選 第 3 号 報 告 事 項</p>	<p>小金井市教育委員会事務局公文規程を廃止する規程 小金井市奨学資金運営委員会委員の推薦について 1 平成 26 年度教育委員会の主な事業について 2 平成 26 年度学級編制について 3 寄附の収受について 4 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 5 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定に ついて 6 平成 26 年度研究奨励校等について 7 その他 8 今後の日程</p>
<p>第 5 回 定 例 会 26.5.13</p>	<p>報 告 事 項 代 処 第 11 号 代 処 第 12 号</p>	<p>1 小金井市奨学資金の応募状況について 2 小金井市学校給食の指針を推進するための組織 設置に向けた準備会について 3 平成 27 年度市立小学校使用教科用図書の採択 について 4 小学校オーケストラ鑑賞教室について 5 中学校合唱鑑賞教室について 6 文化財センター企画展について 7 ウォーキングフェスタ東京について 8 小金井チャレンジデー 2014 について 9 貫井北センターの開設について 10 その他 11 今後の日程 職員の普通退職に関する代理処理について 職員の分限処分に関する代理処理について</p>
<p>第 6 回 定 例 会 26.5.27</p>	<p>議案第 16 号 報 告 事 項 議案第 17 号 議案第 18 号</p>	<p>教育委員会事業場安全衛生委員会委員の任命につ いて 1 小金井市チャレンジデー実行委員会の結果につ いて 2 その他 3 今後の日程 職員の退職について 職員の人事異動について</p>
<p>第 7 回 定 例 会 26.7.8</p>	<p>議案第 20 号 議案第 21 号 議案第 22 号 議案第 23 号</p>	<p>小金井市文化財保護審議会臨時委員の選任について 小金井市公民館企画実行委員の委嘱に関し同意を求 めることについて 教育委員会事業場安全衛生委員会委員の解職につ いて 教育委員会事業場安全衛生委員会委員の任命につ</p>

	報告事項	て 1 平成26年第2回小金井市議会定例会について 2 小金井第一小学校・松の木（セントヘレナの松の木）の伐採について 3 海の移動教室について 4 平成27年度使用教科書の採択方針等の概要 5 小金井チャレンジデー2014について 6 その他 7 今後の日程
	議案第19号	職員の分限処分について
第8回 定例会 26.7.22	議案第24号 議案第25号 報告事項	平成27年度小金井市立小学校使用教科書採択について 平成27年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について 1 その他 2 今後の日程
第9回 定例会 26.8.26	議案第26号 報告事項	平成26年度小金井市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 1 小金井市いじめ防止基本方針（案）について 2 小学校第6学年の林間学校について 3 全国中学校水泳競技大会について 4 総合体育館及び栗山公園健康運動センターにおける防犯カメラ録画運用の開始について 5 その他 6 今後の日程
	代処第14号 議案第27号	職員の人事異動に関する代理処理について 職員の分限処分について
第10回 定例会 26.10.14	代処第15号 協議第4号 報告事項	職員の人事上の措置に関する代理処理について 小金井市指定文化財解除の諮問について 1 平成26年第3回小金井市議会定例会について 2 山の移動教室について 3 貫井北センター利用者アンケートの実施について 4 その他 5 今後の日程
	代処第16号 代処第17号	職員の分限処分に関する代理処理について 職員の分限処分に関する代理処理について
第11回 定例会 26.11.11	協議第5号 議案第28号 報告事項	教育に関する事務に係る予算に対する意見について 小金井市指定文化財の解除について 1 平成27年度新入学児童・生徒について

		<p>2 平成26年度結核対策委員会の開催結果について</p> <p>3 企画展「新聞記事に見る小金井」について</p> <p>4 玉川上水に設置する人道橋名称の募集について</p> <p>5 図書館・公民館業務の見直しについて</p> <p>6 その他</p> <p>7 今後の日程</p>
<p>第12回 定例会 26.11.25</p>	<p>選第4号 議案第29号 報告事項</p>	<p>小金井市長期計画審議会委員の推薦について</p> <p>小金井市いじめ防止基本方針について</p> <p>1 小金井市議会決算特別委員会について</p> <p>2 平成26年度小金井市立小・中学校読書感想文コンクールの表彰結果について</p> <p>3 その他</p> <p>4 今後の日程</p>
<p>第1回 定例会 27.1.13</p>	<p>議案第1号 議案第2号 代処第18号 代処第19号 報告事項 代処第20号 代処第21号</p>	<p>小金井市教育委員会の教育目標・基本方針・平成27年度教育施策について</p> <p>小金井市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>小金井市図書館協議会委員の解職に関する代理処理について</p> <p>小金井市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則に関する代理処理について</p> <p>1 平成26年第4回小金井市議会定例会について</p> <p>2 図書館サービスの見直しについて（答申）</p> <p>3 公民館業務の見直しについて（答申）</p> <p>4 その他</p> <p>5 今後の日程</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p> <p>職員の分限処分に関する代理処理について</p>
<p>第2回 定例会 27.2.10</p>	<p>議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号</p>	<p>教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定依頼について</p> <p>教育長の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の制定依頼について</p> <p>小金井市教育委員会事務局等職員給与条例等の一部を改正する条例の制定依頼について</p> <p>小金井市教育委員会事務局等職員給与条例の特例に関する条例の制定依頼について</p> <p>小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼について</p> <p>小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例施行規則を廃止する規則について</p>

	議案第9号	小金井市立学校事案決定規程の一部を改正する規程について
	代処第1号	小金井市奨学資金支給条例施行規則の一部を改正する規則の代理処理について
	協議第1号	小金井市文化財指定の諮問について
	協議第2号	東センターの事業運営等について
	報告事項	1 インフルエンザ発生状況について 2 アナフィラキシー対応ホットラインについて 3 小金井市立小・中学校連合作品展について 4 第6回中学生「東京駅伝」大会について 5 平成26年度小金井教育の日について 6 平成26年度成人の日記念行事について 7 第27回多摩郷土誌フェアについて 8 第11回野川駅伝について 9 その他 10 今後の日程
	議案第10号	校長・副校長の任命（転任・新任）に係る内申について
	代処第2号	職員の分限処分に関する代理処理について
	代処第3号	職員の分限処分に関する代理処理について
第3回 定例会 27.3.27	議案第11号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う教育委員会関係規則の整理に関する規則について
	議案第12号	小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
	議案第13号	小金井市教育委員会職員の職名等に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第14号	小金井市教育委員会聴聞及び弁明の機会の付与に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第15号	人事制度の改正に伴う教育委員会関係規程の整理に関する規程について
	議案第16号	教育長の権限に属する事務の一部委任規程の一部を改正する規程について
	議案第17号	小金井市教育委員会教育長事務決裁及び専決規程の一部を改正する規程について
	議案第18号	小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程について
	議案第20号	学校職員の兼業等及び教育公務員の教育に関する兼職等に関する事務取扱規程の一部を改正する規程について
	議案第21号	小金井市公立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正

		する規程について
議案第22号	小金井市公立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	
議案第23号	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	
議案第24号	小金井市指定文化財の指定について	
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年第1回小金井市議会定例会について 2 図書館の蔵書点検の結果について 3 その他 4 今後の日程 5 平成27年度小金井市立学校長・副校長等の人事異動について 	
代処第4号	職員の分限処分に関する代理処理について	
代処第5号	職員の分限処分に関する代理処理について	
代処第6号	職員の併任に関する代理処理について	
議案第19号	職員の人事異動について	

4 平成26年度 小金井市立小・中学校 学校行事・連合行事等日程表

行事等	一小	二小	三小	四小	東小	前原小	本町小	緑小	南小	一中	二中	東中	緑中	南中
海の移動教室(小5年)	5/18(月) ↓	6/10(水) ↓	5/13(水) ↓	5/20(水) ↓	5/25(月) ↓	6/1(月) ↓	5/27(水) ↓	6/3(水) ↓	6/8(月) ↓					
	5/20(水)	6/12(金)	5/15(金)	5/22(金)	5/27(水)	6/3(水)	5/29(金)	6/5(金)	6/10(水)					
林間学校(小6年)	8/21(金) ↓	7/19(日) ↓	7/22(水) ↓	7/25(土) ↓	7/28(火) ↓	7/31(金) ↓	8/3(月) ↓	8/6(木) ↓	8/18(火) ↓					
	8/24(月)	7/22(水)	7/25(土)	7/28(火)	7/31(金)	8/3(月)	8/6(木)	8/9(日)	8/21(金)					
山の移動教室(中2年)										9/16(水) ↓	6/25(木) ↓	7/1(水) ↓	9/11(金) ↓	9/14(月) ↓
修学旅行(中3年)										9/18(金)	6/27(土)	7/3(金)	9/13(日)	9/16(水)
										9/22(火) ↓	9/6(日) ↓	10/3(土) ↓	9/14(月) ↓	9/17(木) ↓
特別支援学級移動教室										9/24(木)	9/8(火)	10/5(月)	9/16(水)	9/19(土)
小学校オーケストラ鑑賞教室										G組 6/23(火)～6/25(水)・6組 5/13(水)～15(金)				
中学校合唱鑑賞教室										4/27(月) (武蔵野市民文化会館)				
連合音楽会										10/27(火) (小金井市民交流センター)				
連合作品展										5/8(金) (武蔵野市民文化会館)				
始業式・入学式										1/22(金)～1/26(火) (小金井市民交流センター)				
修了式										始業式4/6(月) 入学式4/7(火)				
卒業式										修了式3/24(木)				
周年行事										卒業式3/25(金)				
研究的行事	運動会 10/3(土)	運動会 5/23(土)	運動会 10/3(土)	運動会 10/3(土)	運動会 10/3(土)	運動会 5/23(土)	運動会 10/3(土)	運動会 10/3(土)	運動会 10/3(土)	運動会 6/6(土)	運動会 5/30(土)	運動会 5/30(土)	運動会 5/30(土)	体育祭 5/30(土)
	学習発表会 11/13(金)	音楽会 11/20(金)	展覧会 11/13(金)	学習発表会 11/19(木)	音楽会 11/20(金)	げやき祭 11/6(金)	学芸会 11/20(金)	みどり展 11/13(金)	学習発表会 11/20(金)	ふじがね祭 10/22(木)	音楽祭 10/27(火)	合唱祭 10/24(日)	文化発表会 10/20(火)	合唱コンクール 10/21(水)
文化的行事	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	10/22(木)	10/27(火)	10/24(日) 作品展発表会	↓	10/21(水)
	11/14(土)	11/21(土)	11/14(土)	11/21(日)	11/21(日)	11/7(土)	11/21(日)	11/14(土)	11/21(土)	11/14(土)	11/21(日)	11/14(土)	10/21(火)	10/21(火)

小金井市教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

平成27年8月発行

編集・発行 小金井市教育委員会

小金井市教育委員会事務局

小金井市前原町三丁目41番15号

☎ 042-387-9872